

II. 教育の内容

1. 教育課程

本学教育の基本目標「生きる」を考え、「働く」を学ぶ」を目指し、オリエンテーション、教育課程、資格取得用補助教育、進路指導、授業評価、国際交流、地域社会活動、ファカルティ・ディベロプメント(FD)、学生募集、教職員人事、施設整備、組織改革など、教育に関連するすべてにおいて、この基本理念を推進するとともに、「語学力」「ICT力」「マネジメント力」「コミュニケーション力」の4つを土台とし、プロジェクト学習をカリキュラムの中核として2年間で真のチカラを養う教育を推進している。

本学の教育課程は、総合教育科目等を中心とする両学科共通科目と、各学科の専門科目によって構成されている。

(1) 両学科共通科目

高等教育機関の存在意義は、専門科目の学修のみにあるのではなく、社会人として、すぐれた教養と考える力をもった人材を輩出するところにある。従って、カリキュラムにおける両学科共通科目は、専門科目履修に先立つ基礎教育として重要な役割を果たすために、情報処理科と国際文化学科に共通の内容もつ基礎科目群として開講されている。ここでは、各科目の独自性を維持しつつ、高等教育機関の特色である、広い視野を備えた学生の育成を図るという教育理念のもとに、各科目が構成されている。特に、短大として、教養教育を、専門教育等のすべての教育の基盤として強化するという方針から、従来の教養科目を配した総合教育科目を軸に、現代の教養として各種外国語、情報関連科目やスポーツ科目を強化し、なおかつキャリア育成を支援する進路対策科目、卒研ゼミナールもより一層充実させた。

1) 構成

- 現代文明論
- 総合教育
- 外国語
- キャリア教育
- スポーツ
- 留学生日本語
- 海外留学

2) 2011年度現代文明論Ⅰ・Ⅱ概要

2011年度の現代文明論Ⅰ・Ⅱでは、「若き日に汝の思想を培え」の具現化と共に、それを支える能力として「聞く」・「書く」・「編む」・「発言する」力を培う訓練をレポート作成と討論を通して行くことに一層の力を注いでいる。「聞く」・「書く」・「編む」力が「思想を培う」こと、それを発表する力の育成を現代文明論の伏線に位置づける。

基本的な講義編成としては、東海大学の建学の精神や教育理念を伝える講義を核に、「現代文明の基盤」、「文明の多様性」、「文明の未来」を柱に各講義が編成されている。2009年度より『思想を培う』技術と方法として現代文明論運営委員による、「聞く」・「書く」・「編む」・「発言する」力を培う訓練を行なうこととした。年々現代文明論受講者が静かにスクリーンの文字列をノートに書き写し、画一的なレポートを作成する割合が増加している。このような授業の受け方は入学に至る中学高校における習慣が身に付いているため、これを打ち壊すところから「思想を培う」一歩は始まるものと思われる。

福岡短期大学の現代文明論は、全ての講義を「現代文明論フラッシュ WEB 教材」として WEB データベースに蓄積し、必要に応じて限られた履修者に閲覧させている。この教材は、実講義を録音し、講師の提示するパワーポイント等の資料と連動させたもので、実際の授業を受けているイメージで視聴することができる。この教材はやむ終えない事情で欠席が重なった者、文章作成能力に欠けているためレポート作成が著しく劣る者などに、学期末の補講として個別に視聴させ効果を上げている。また学生に成績と出席の状態を把握させるために「これまでの成績と出席」を最終回まで維持した時の評価と出席の予測をシュミレーションし、数回の授業ごとに掲示した。

なお東海大学は学園全体を通して、建学の精神を学生に敷衍するために「現代文明論」講義を行っているが建学の精神に対する解釈の見直しと定期的な点検のために、理事長・総長をセンター長とし、常任の研究員を擁する現代文明論研究センターを設置している。また法人学務局が主催する現代文明論教育機関連絡調整会議が、各大学・短期大学、及び付属高等学校選出の委員によって年2回開催され、授

業編成を始めとする現代文明論の運営の統一を図っている。

2011年度「現代文明論Ⅰ」授業編成

回数	期日	講義区分と題目	講師	授業の目標
1	4/14	ガイダンス	運営委員	1. 「現代文明論」講義の目標と運営概要, 受講技術指導 2. 「レポート」の書き方および添削について
2	4/21	【思想を培う技術】 話されたことばの記録	運営委員	1. 話された言葉を記録する 2. 話された言葉を文章化する
3	4/28	【建学の精神をさぐる】 東海大学建学の思想と源流	西野 仁 (福岡短大学長)	創設者松前重義博士が描いた東海大学建学の思想と背景。
4	5/12	【建学の精神をさぐる】卒業してから現代文明論は役に立つのか	伊津 信之介 (情報処理科)	私の大学時代から現在に至る経歴をたどりながら、後輩である学生諸君に現代文明論がどのように役に立ったのかを理解してもらいたい。
5	5/19	【建学の精神をさぐる】 デンマークに学ぶ	難波 克彰 (現文センター)	デンマークに学び創立された東海大学。私たちは豊かな福祉社会を作り上げるために再び学ばなければならない。
6	5/26	【文明の基盤】 文学と文明	神山 高行 (国際文化学科)	文明及び社会生活における文学の役割について
7	6/2	【文明の基盤】 現代社会における数学の役割	宮川 幹平 (情報処理科)	抽象的に物事を捉え思考することが現代社会における問題解決に有用であるか、これまでの成果を含めて考察する
8	6/9	【文明の基盤】 現代文明とエネルギー	齋藤 守正 (情報処理科)	太陽光発電は地球温暖化問題を解決するだけでなく、化石燃料の地域偏在による経済問題、国際紛争も緩和する。
9	6/16	【文明の多様性】 異文化理解における観光の役割	大方 優子 (国際文化学科)	観光という活動を通して、異なる文化の存在を認め共存することの意義を考える。

10	6/23	【文明の多様性】 多民族社会を考える	吉岡 メリー (国際文化学科)	現在の日本社会は単民族的でしょうか、それとも多民族的でしょうか？
11	6/30	【文明の未来】 小型化の追及	八尋 剛規 (情報処理学科)	さまざまな情報機器に関する最新技術の動向と、今後予想される社会の在り方について述べる。
12	7/7	【文明の未来】 情報化社会と先端技術	矢原 充敏 (情報処理学科)	ものづくりと情報との融合の観点から最先端技術の進歩と現状そして可能性を考える。
13	7/14	【思想を培う技術】 討論 授業に参加する	運営委員	「私の文明観」 (委員と学生によるパネル討論)
14	7/21	授業総括と授業評価アンケート	運営委員	総括 (何を得たか、自分の対応や課題などのレポート) および授業評価アンケートの記入

2011 年度 「現代文明論 II」 授業編成

回数	期日	講義区分と題目	講師	授業の目標
1	4/14	ガイダンス	運営委員	1. 「現代文明論」 講義の目標と運営概要, 受講技術指導 2. 「レポート」 の書き方および添削について
2	4/21	【思想を培う技術】 話されたことばの記録	運営委員	1. 話された言葉を記録する 2. 話された言葉を文章化する
3	4/28	【建学の精神をさぐる】 東海大学建学の思想と源流	西野 仁 (福岡短大 学長)	創設者松前重義博士が描いた東海大学建学の思想と背景。
4	5/12	【建学の精神をさぐる】 卒業してから現代文明論は役に立つのか	伊津 信之介 (情報処理学科)	私の大学時代から現在に至る経歴をたどりながら、後輩である学生諸君に現代文明論がどのように役に立ったのかを理解してもらいたい。
5	5/19	【建学の精神をさぐる】 デンマークに学ぶ	難波 克彰 (現文センター)	デンマークに学び創立された東海大学。私たちは豊かな福祉社会を作り上げるために再び学ばなければならない。
6	5/26	【文明の基盤】 文学と文明	神山 高行 (国際文化学科)	文明及び社会生活における文学の役割について

7	6/2	【文明の基盤】 現代社会における数学の役割	宮川 幹平 (情報処理工学)	抽象的に物事を捉え思考することが現代社会における問題解決に有用であるか、これまでの成果を含めて考察する
8	6/9	【文明の基盤】 現代文明とエネルギー	齋藤 守正 (情報処理工学)	太陽光発電は地球温暖化問題を解決するだけでなく、化石燃料の地域偏在による経済問題、国際紛争も緩和する。
9	6/16	【文明の多様性】 異文化理解における観光の役割	大方 優子 (国際文化学)	観光という活動を通して、異なる文化の存在を認め共存することの意義を考える。
10	6/23	【文明の多様性】 多民族社会を考える	吉岡 メリー (国際文化学)	現在の日本社会は単民族的でしょうか、それとも多民族的でしょうか？
11	6/30	【文明の未来】 小型化の追及	八尋 剛規 (情報処理工学)	さまざまな情報機器に関する最新技術の動向と、今後予想される社会の在り方について述べる。
12	7/7	【文明の未来】 情報化社会と先端技術	矢原 充敏 (情報処理工学)	ものづくりと情報との融合の観点から最先端技術の進歩と現状そして可能性を考える。
13	7/14	【思想を培う技術】 討論 授業に参加する	運営委員	「私の文明観」 (委員と学生によるパネル討論)
14	7/21	授業総括と授業評価アンケート	運営委員	総括 (何を学んだか、自分の対応や課題などのレポート) および授業評価アンケートの記入

3) カリキュラム

両学科共通科目 (2011年度生)

科目の種類	授業科目名	授業形態	必選別	単位数	開講セメスター (開講はセメスター単位。数字は1週あたりの時間数。集中授業の場合は「集」と記載)				教員配置 (兼任非常勤には「※」マーク)	受講者数 (セメスター開講科目については累計。斜線は履修者数未確定)	eラーニング	備考
					1	2	3	4				
現代文明論	現代文明論I	講義	○	2	2				専任	88		4単位必修
	現代文明論II	講義	○	2		2			専任	87		
総合教育	現代社会と思想	講義	●	2	2	2			専任	56		選択必修 4単位以上
	文学と歴史	講義	●	2			2	2	専任			
	青年期の心理	講義	●	2	2	2			非常勤	72		
	経済と国際社会	講義	●	2	2	2			非常勤	97		
	環境と地球	講義	●	2			2	2	専任	1		
	健康とスポーツ	講義	●	2			2	2	専任	1		
外国語	英語I	講義	●	1	2				専任	78		選択必修 2単位以上
	英語II	講義	●	1		2			専任	64		
	英語III	講義	●	1			2		専任	2		
	英語IV	講義	●	1				2	専任			
	フランス語I	講義	●	1	2				専任	12		
	フランス語II	講義	●	1		2			専任	4		
	韓国語I	講義	●	1	2				専任	52		
	韓国語II	講義	●	1		2			専任	29		
	中国語I	講義	●	1	2				専任	46		
	中国語II	講義	●	1		2			専任	41		
キャリア教育	情報リテラシーI	実習	○	1	2				専任	96	○	5単位必修
	情報リテラシーII	実習	×	1		2			専任	1	○	
	ビジネス基礎	講義	×	2	2				専任	44		
	進路対策I	講義	×	2	2				専任	86		
	進路対策II	講義	×	2		2			専任	80		
	進路対策III	講義	×	2			2		専任			
	進路対策IV	講義	×	2				2	専任			
	企業実習	実習	×	2		集			専任	10		
	フレッシュマンゼミナールI	演習	○	1	2				専任	91		
	フレッシュマンゼミナールII	演習	○	1		2			専任	86		
	卒研ゼミナールI	演習	○	1			2		専任			
	卒研ゼミナールII	演習	○	1				2	専任			
スポーツ	スポーツ理論及び実習I	実習	×	1	2	2			専任	36		
	スポーツ理論及び実習II	実習	×	1	2	2			専任	14		
	スポーツ理論及び実習III	実習	×	1	2	2			専任	74		
	スポーツ理論及び実習IV	実習	×	1	2	2			専任	16		
日留本語生	日本語コミュニケーションI	講義	×	1	2				非常勤	9		
	日本語コミュニケーションII	講義	×	2		4			非常勤	3		
海外留学	海外短期留学	講義	×	4	東海大学派遣留学制度 その他の留学を含む				専任	0		
	海外中期留学	講義	×	6					専任	0		
	海外長期留学	講義	×	8					専任	0		
	海外研修(航海)	講義	×	4		集			専任	0		

両学科共通科目（2010年度生）

科目の種別	授業科目名	授業形態	必選別	単位数	開講セメスター (開講はセメスター単位。数字は1週あたりの時間数。集中授業の場合は「集」と記載)				教員配置 (兼任非常勤には「※」マーク)	受講者数 (セメスター開講科目については累計。斜線は履修者数未確定)	eラーニング	備考
					1	2	3	4				
現代文明論	現代文明論I	講義	○	2	2				専任	103		4単位必修
	現代文明論II	講義	○	2		2			専任	101		
総合教育	現代社会と思想	講義	●	2	2	2			専任	53	○	選択必修 4単位以上
	文学と歴史	講義	●	2			2	2	専任	48	○	
	青年期の心理	講義	●	2	2	2			非常勤	85		
	経済と国際社会	講義	●	2	2	2			専任	151		
	環境と地球	講義	●	2			2	2	専任	47		
	地域社会とボランティア	講義	●	2	2	2			専任	37		
外国語	英語I	講義	●	1	2				専任	96		選択必修 2単位以上
	英語II	講義	●	1		2			専任	93		
	英語III	講義	●	1			2		専任	56		
	英語IV	講義	●	1				2	専任	29		
	フランス語I	講義	●	1	2				専任	15		
	フランス語II	講義	●	1		2			専任	12		
	韓国語I	講義	●	1	2				専任	38		
	韓国語II	講義	●	1		2			専任	30		
	中国語I	講義	●	1	2				専任	25		
中国語II	講義	●	1		2			専任	35			
ビジネス基礎	情報リテラシーI	実習	○	1	2				専任	109	○	1単位必修
	情報リテラシーII	実習	×	1		2			専任	128	○	
	ビジネス基礎	講義	×	2	2				専任	25		
	秘書実務	実習	×	1	2				専任	36		
	地域資源開発I	講義	×	2	2				専任	14		
	地域資源開発II	講義	×	2	集中				専任	6		
	地域資源開発III	講義	×	2		2			専任	4		
スポーツ	スポーツ理論及び実習I	実習	×	1	2				専任	42		
	スポーツ理論及び実習II	実習	×	1		2			専任	48		
	スポーツ理論及び実習III	実習	×	1			2		専任	48		
	スポーツ理論及び実習IV	実習	×	1				2	専任	23		
進路対策	進路対策I	講義	×	2	2				専任	100		
	進路対策II	講義	×	2		2			専任	101		
	進路対策III	講義	×	2			2		専任	92		
	企業実習	実習	×	2		集中			専任	13		
日留学生	日本語コミュニケーションI	講義	×	1	2				非常勤	3		
	日本語コミュニケーションII	講義	×	2		4			非常勤	6		
海外留学	海外短期留学	講義	×	4	東海大学派遣留学制度 その他の留学を含む				専任	0		
	海外中期留学	講義	×	6					専任	2		
	海外長期留学	講義	×	8					専任	0		
	海外研修(航海)	講義	×	4						集		

4) 自己点検・評価

両学科の各専門的知識に加えて、優れた教養と考えるチカラを有した人材育成に向けて、多くの科目を設定し、各分野に係るチカラを基礎的知識とスキルから積上げ、個々の科目ごとに養っていく従来の教育手法は、ICTを中心とした現代社会の流れと実社会が求める人材ニーズを考えたとき、大きな変革の時期を迎えていると言える。今後は、現代社会に即した人材育成を考えたとき、各科目で養った知識とスキルを実践活動による教育を通じて統合化・全体化し、経験から得た統合されたチカラを養っていく新たな教育システムを構築して行くことが重要であると考えられる。そのためには、カリキュラムの抜本改革も含めて早急の検討が必要である。

(2) 情報処理学科

1) 教育方針・構成

21世紀のICT(Information and Communication Technology / 情報通信技術)社会では、予想をはるかに越えるスピードで社会の情報化が進んでおり、あらゆる分野のデジタル化・モバイル化・ネットワーク化が進展していく中で、新しい事業分野が創出され、産業・経済・社会を大きく変革させている。そのため、従来からの情報処理産業のみならず、事務・営業・財務・医療など、広範な領域においてICTは不可欠なものとなっている。

情報処理学科では、モバイル情報機器、ソーシャルネットワーク、クラウドサービスなど新しい情報の流れを幅広く活用するスキルを身につけ、それらを様々なビジネス現場でより有効に応用し、即戦力として活躍できるだけのICT活用力と応用力を育むことを教育の目標としている。また、ビジネスの実務者として柔軟に対応できるだけでなく、近未来コンピューティングを志向できる総合的なデジタル教養を有する人材の育成を図っている。

これを実現するために、情報処理学科では、デジタルコンテンツを表現あるいは作成する分野、エンドユーザとしてコンピュータを業務推進のために活用する側の分野を中心にカリキュラムを構築し、教育を展開している。

メディアデザイン

情報処理分野におけるマルチメディアの進展により、現在の情報処理業界においては、一つの能力に長けた人材だけでなく、Web制作、映像、音楽、プログラム、情報発信などの知識と技術をバランスよく兼ね備えた人材が求められている。そこで、「Webデザイン」「CG」「プログラミング」「システムマネジメント」等の科目を中心に構成し、「プロジェクト実践」で実践教育を通じて個々の科目で修得した知識とスキルを総合的に活用・応用するチカラの育成を行っている。

卒業後の活躍可能分野は、Webコンテンツ制作やその関連業務、CG関連業務や通信・情報サービス分野、システムエンジニアなど企業等での情報化推進部門やネットワーク関連業務などである。

オフィスワーク

オフィス業務を中心として、広報メディア、接客・販売、医療事務などビジネスの現場において、ICTを活用して各種業務をより円滑かつ効率的に運用するための必要な基礎知識と技術は、業務を遂行する上で極めて重要な要素である。そこで、ビジネス基礎や流通に関する知識やデータ分析、データ活用手法などを中心に学ばせ、ICT化が進むビジネス社会の中で即戦力として活躍できる人材育成を目指している。また、「プロジェクト実践」で実践教育を通じて個々の科目で修得した知識とスキルを総合的に活用・応用するチカラの育成を行っている。

卒業後の活躍可能分野は、銀行・証券会社を含む一般事務、医療事務、広告業界や印刷関連業務、各種接客販売業務などが期待できる。

<重点補助教育講座>

情報処理技術者試験、ITパスポート試験、日商PC検定(文書作成)、日商PC検定(データ活用)、日商簿記検定、カラーコーディネータ検定、CG検定、マルチメディア検定

2) カリキュラム

a. 開講科目（学科専門科目）一覧 学科専門科目（2011年度生）

科目の種別	授業科目名	授業形態	必選別	単位数	開講セメスター (開講はセメスター単位。数字は1週あたりの時間数。集中授業の場合は「集」と記載)				教員配置 (兼任非常勤には「※」マーク)	受講者数 (セメスター開講科目については累計。斜線は履修者数未確定)	eラーニング	備考
					1	2	3	4				
情報共通	情報基礎	講義	○	2	2				専任	43		8単位必修
	ビットの時代論	演習	○	2		2			専任	37		
	プロジェクト実践I	演習	○	2			2		専任			
	プロジェクト実践II	演習	○	2				2	専任			
	情報総合演習I	講義	×	2	2				専任	40		
	情報総合演習II	講義	×	2		2			専任	40		
	メディアリテラシー	講義	×	2	2				専任	18		
	インターネット基礎	講義	×	2	2				専任	26		
	プログラミング基礎	講義	×	2		2			専任	28	○	
ディジタルラ	ホームネットワーク	講義	×	2			2		専任			
	デジタルメディアI	講義	×	2	2				専任	17		
	デジタルメディアII	講義	×	2		2			専任	29		
	インターネットコミュニケーション	実習	×	2		2			非常勤	47		
	モバイルコミュニケーション	実習	×	2	2				非常勤	47		
メディアデザイン	コンテンツビジネス	講義	×	2	2				専任	16	○	
	システムマネジメント	講義	×	2		2			専任	10	○	
	アルゴリズム	実習	×	2		2			専任	8	○	
	プログラミングI	実習	×	1			2		専任		○	
	プログラミングII	講義	×	1				2	専任		○	
	コンピュータネットワーク	実習	×	2		2			専任	16		
	コンピュータシステム	実習	×	2	2				専任	15	○	
	WebデザインI	実習	×	1		2			専任	14		
	WebデザインII	講義	×	1			2		非常勤			
	データベース	実習	×	2		2			専任	17		
	2次元CG	講義	×	1	2				専任	12		
	3次元CG	講義	×	1		2			専任	14		
	デジタル編集	講義	×	2			2		専任			
オフィスワーク	ビジネスデータ活用	講義	×	1				2	専任			
	経営基礎論	実習	×	2				2	専任			
	マーケティング	講義	×	2			2		専任			
	簿記原理I	講義	×	2	2				専任	21		
	簿記原理II	講義	×	2		2			専任	15		
	簿記演習I	講義	×	2	2				専任	20		
	簿記演習II	演習	×	2		2			専任	15		
	秘書実務I	演習	×	1	2				専任	18		
	秘書実務II	講義	×	1		2			専任	3		
	医事コンピュータ	講義	×	2			2		非常勤			
	医療事務I	講義	×	2	2				非常勤	29		
	医療事務II	講義	×	4		4			非常勤	19		

学科専門科目（2010年度生）

科目の種別	授業科目名	授業形態	必選別	単位数	開講セメスター (開講はセメスター単位。数字は1週あたりの時間数。集中授業の場合は「集」と記載)				教員配置 (兼任非常勤には「※」マーク)	受講者数 (セメスター開講科目については累計。斜線は履修者数未確定)	eラーニング	備考
					1	2	3	4				
情報共通	情報基礎	講義	○	2	2				専任	35		6単位必修
	情報総合演習I	演習	○	2	2				専任	35		
	情報総合演習II	演習	○	2		2			専任	42		
	情報総合演習III	演習	×	2			2		専任	34		選択必修 2単位以上
	メディアリテラシー	講義	●	2	2				専任	12		
	インターネット基礎	講義	●	2	2				専任	50		
	プログラミング基礎	講義	●	2		2			専任	26	○	
	ビジネス情報	講義	●	2			2		専任	29		
	基礎数学	講義	×	2			2		専任	8		
情報実務	情報処理I	講義	×	2	2				専任	26	○	
	情報処理II	講義	×	2		2			専任	13	○	
	アルゴリズム	講義	×	2		2			専任	8	○	
	プログラミングI	実習	×	1			2		専任	9	○	
	プログラミングII	実習	×	1				2	専任	5	○	
	コンピュータネットワーク	講義	×	2		2			専任	30		
	コンピュータシステム	講義	×	2	2				専任	14	○	
	インターネット実習I	実習	×	1		2			専任	21		
	インターネット実習II	実習	×	1			2		専任	9		
	データベース	講義	×	2		2			専任	12		
	2次元CG制作	実習	×	1	2				専任	12		
	3次元CG制作I	実習	×	2		4			専任	11		
	3次元CG制作II	実習	×	2			4		専任	5		
	デジタルデッサン	講義	×	2			2		非常勤	17		
	アニメーション	実習	×	2		4			専任	12		
	カラーコーディネーション	講義	×	2	2				専任	49		
	ゲームデザイン	講義	×	2				2	専任	10		
	コンピュータ応用リテラシー	講義	×	2				2	専任	21		
	CAD	講義	×	2			2		専任	9		
	CAD実習	実習	×	1				2	専任	4		
オフィス実務	経営基礎論	講義	×	2			2		専任	22		
	マーケティング	講義	×	2		2			専任	20		
	簿記原理I	講義	×	2	2				専任	24		
	簿記原理II	講義	×	2		2			専任	25		
	簿記演習I	演習	×	2	2				専任	22		
	簿記演習II	演習	×	2		2			専任	22		
	オフィス事務	講義	×	2			2		非常勤	26		
	プレゼンテーション	講義	×	2	2				専任	3		
	インターネットビジネス	講義	×	2		2			専任	16		
	編集基礎	講義	×	2				2	専任	8		
	医事コンピュータ	講義	×	2			2		非常勤	14		
	医療事務I	講義	×	2	2				非常勤	27		
	医療事務II	講義	×	4		4			非常勤	24		
	データ活用	講義	×	2			2		専任	12		
IT教育法	講義	×	2				2	専任	13			
ゼミナール	総合ゼミナールI	演習	○	1	2				専任	35		4単位必修
	総合ゼミナールII	演習	○	1		2			専任	36		
	総合ゼミナールIII	演習	○	1			2		専任	33		
	総合ゼミナールIV	演習	○	1				2	専任	33		
	専門ゼミナールI	演習	●	2	2				専任	33	一部○	選択必修 4単位以上
	専門ゼミナールII	演習	●	2		2			専任	38	一部○	
	専門ゼミナールIII	演習	●	2			2		専任	25		
	専門ゼミナールIV	演習	●	2				2	専任	20		

b. 履修可能科目および卒業要件について

情報処理学科に所属する学生は、情報処理学科の学科専門科目のほか、項目（1）で挙げた両学科共通科目を履修できる。また、国際文化学科の学科専門科目についても、原則として履修可能である。このほか、1・2セメスターの学生が、3・4セメスターの科目を受講することは原則として認めない。

卒業要件としては、両学科共通科目および学科専門科目に設定された必修科目（必選別に○マークのある科目）を全て合格し、かつ、選択必修科目（必選別に●マークのある科目）の条件を満たし、合計で62単位以上の単位を取得することである。ただし、国際文化学科の学科専門科目については、卒業要件として最大で20単位までしか認めない。

3) 自己点検・評価

モバイル情報機器、ソーシャルネットワーク、クラウドサービスなど極めた速いICTの流れに対応し、多様化する学生のニーズにこたえ、より効果のある教育を行うために科目の見直しを図りながら教育改善に努めてきた。その中で、2011年度の教育の柱として「プロジェクト実践」を新たに組込んだ。現在のICTを中心としたビジネス業務においては、一つの能力に長けた人材ではなく、様々な情報機器やコンテンツを自由に扱いこなし、それらを組合せて新しい発想を創出するチカラが極めて重要である。このことから、「プロジェクト実践」は、日常業務においてICTを総合的に活用するチカラを養成するために、個々の科目で修得した知識とスキルを実践活動による教育を通じてつなぎあわせるための役割として、本カリキュラムにおいては中核をなす位置づけの科目である。

また、資格面では2009年度以降、資格取得の柱として「情報総合演習」を設置し、本学科に所属する全学生に対して支援を強化する体制を構築した。これに伴い、各科目の内容も見直しを図った。情報系国家資格である基本情報技術者試験については、午前試験免除の申請を行い、学生がより受験しやすい環境を整えた。

「プロジェクト実践」をカリキュラムの中核に据えることで、個々のデジタル機材あるいはコンテンツを扱うだけの能力ではなく、それらを総合的かつ能動的に活用できる能力を養う上では一定の成果を得ることができたと考えられる。しかし、各専門科目と「プロジェクト実践」の内容が完全に連動しているということではないため、2年間という短大教育の期間において、総合的なICT活用力を修得させるためには、改善すべき点が多々ある。今後は、「プロジェクト実践」と各科目との接続教育など、この問題点改善に向けて検討を進めていく必要がある。

(3) 国際文化学科

1) 教育方針・構成

国際文化学科は、グローバル化が大きく進展し、東アジア地域において積極的な活躍が期待されている日本の現状を鑑み、この地域での人々の交流・交易のさらなる進展に貢献できる人材の育成を目標としている。そのため、プロジェクト研究等の体験を軸にした実践的な教育方針のもと、学科には「観光・レジャー」と「英語・韓国語・中国」の二つの分野を設置している。特に、発展・成長する東アジアの東端に位置する福岡という地の利を生かし、世界語である英語の他に、発展するアジアニカ国の言語（韓国語、中国語）を徹底的にマスターするための豊富な留学プログラムを準備している。

その上に、今後さらに大きな需要が見込まれる観光、レジャーそしてスポーツに関わる産業において中堅的役割を担える人材の育成を計るとともに、短期大学という二年間の教育を礎にして、さらに専門的な技術や知識を身に付け、留学や四年制大学への編入を希望する学生が、その目標を実現するための支援体制を強化している。

本学科は、多様化する学生、彼らの就職・編入・留学等の多彩なニーズに的確に対応し、二年間を最大限に生かした教育を行うことで、社会人として相応しい人材を育成する高等教育のファーストステージとしての役割を果たすことを使命としている。

観光・レジャー分野

国際化の進展や、インターネット活用の本格化は、観光分野にも大きな変革を迫っている。本学は、観光のそれぞれの現場で働く中堅スタッフとして、旅行スタッフ、航空スタッフ、ホテルスタッフ、ツ

アーコンダクター等の人材の輩出を視野に入れた教育を行っている。そのために、英語をはじめとする、アジアの言語を習得することを奨励すると共に、観光産業に不可欠な実践的な知識や技能を身に付ける授業を展開している。また、現代という時代に対応した観光スタッフとして、国際社会や情報社会の必須アイテムであるインターネットやパソコンを駆使して、ビジネスに必要な専門知識、さらには環境保護のような 21 世紀が直面する課題に至るまで、幅広く学ぶことができるように配慮している。資格に関しても、観光産業で必要とされる総合・国内旅行業務取扱管理者など資格取得のための講座も開設していると共に、ツアーコンダクターに必要な資格である旅程管理主任に対する講座も、指定講習機関の協力を得て実施している。この様に、本学は、新しい時代の観光をにやう若い人材の育成を目指している。

また、社会が成熟し、高度集約的な労働が要求される今日、生活の豊かさと健康や体力の維持を目的として、スポーツやレジャー関連分野が重要な位置を占めるようになってきた。既に、健康増進のためのスポーツ関連施設が社会インフラとなり、様々なスポーツイベントには大量の参加者の動員が見込まれるようになった。また、若年層から高齢者層に至るまで、より人生の質を高めるためにレジャーが果たす役割は拡大する一方である。今後、自然環境が豊かな九州の地において、スポーツやレジャーの需要はさらに拡大することが見込まれる。そこで、これらの分野におけるリーダー的な人材とそれを支える多くの有能な中堅人材を育成することで、九州地域における観光・スポーツ・レジャー産業の礎を担う人材を輩出したい。

英語・韓国語・中国語分野

本学は、本学が立地する福岡がアジアの東の拠点であると考え、特にこの 3 カ国語を強化している。アジアの国々とのこれからさらに一層の交流拡大が予想される中、まず挨拶程度の初級レベルから上級レベルに至るまで、徹底して学べる環境を準備している。また、英語は、世界の公用語として不可欠であるだけでなく、圧倒的多数の外国人とコミュニケーションを取る手段として最も有効である、という点から更なるブラッシュアップする機会を準備している。当然ではあるが、外国の文化や国際コミュニケーションに興味をもち、国際社会で活躍したい人にとって、語学の上達には、生きた環境の中で、その国の文化に接しながら学ぶことが一番の近道である。そのため、ネイティブスピーカーによるきめ細かい指導により、それぞれの言語のレベルアップを図れるようにカリキュラムが工夫されている。

また、留学制度も豊富である。英語に関しては、米国政府から認可されたハワイ東海インターナショナルカレッジ (HTIC) での語学研修などを通じて、実践的な英語を習得できる機会を設定している。韓国語に関しては、東義科学大学への 2 週間の短期留学と一セメスターの交換留学の他に、白石大学への 3 週間の語学留学も新たに開始した。中国語に関しては、北京第二外国語大学への短期留学を設定しているが、それだけでなく、さらに東海大学が提携する海外の大学への留学の道も開かれている。

卒業後の進路としては、一般企業をはじめ、外資系企業、航空・運輸業、出版業、秘書など広い分野で活躍できる国際性豊かな人材の育成を目標にしている。

2) カリキュラム

a. 開講科目（学科専門科目）一覧 学科専門科目（2011年度生）

科目の種別	授業科目名	授業形態	必選別	単位数	開講セメスター (開講はセメスター単位。数字は1週あたりの時間数。集中授業の場合は「集」と記載)				教員配置 (兼任非常勤には「※」マーク)	受講者数 (セメスター開講科目については累計。斜線は履修者数未確定)	eラーニング	備考
					1	2	3	4				
国際文化共通	国際文化論	講義	●	2	2				専任	24		選択必修 4単位以上
	異文化交流論	講義	●	2			2	専任				
	英語文化圏地域研究	講義	●	2			2	専任	1			
	フランス語文化圏地域研究	講義	●	2			2	専任				
	韓国語文化圏地域研究	講義	●	2		2		専任	58			
	中国語文化圏地域研究	講義	●	2		2		専任	33			
観光・レジャー	観光学概論I	講義	×	2	2				専任	38		
	観光学概論II	講義	×	2		2		専任	36			
	観光メディア論	講義	×	2			2	専任				
	観光マーケティング	講義	×	2		2		専任	28			
	エコツーリズム論	講義	×	2			2	専任				
	ホテルビジネス	講義	×	2	2			専任	46			
	エアラインビジネス	講義	×	2		2		専任	35			
	ツアーマネジメント	講義	×	2		2		専任	46			
	ツーリズム演習	演習	×	2	2			専任	30			
	旅行業法規	講義	×	2	2			専任	31			
	国内観光地理	講義	×	2	2			専任	36			
	海外観光地理	講義	×	2			2	専任				
	スポーツ・レジャーマネジメント	講義	×	2		2		専任	34			
	スポーツ・レジャー科学論	講義	×	2			2	専任				
	スポーツ・レジャー論	講義	×	2	2			専任	3			
	レジャー・レクリエーション実習I	実習	×	1			2	専任				
	レジャー・レクリエーション実習II	実習	×	1			2	専任				
	生涯スポーツ論	講義	×	2			2	専任				
	救急処置法	講義	×	2			集	非常勤※				
	英語・韓国語・中国語	英語コミュニケーションI	講義	×	2	4			専任	36		
英語コミュニケーションII		講義	×	2		4		専任	37			
英語コミュニケーションIII		講義	×	1			2	非常勤				
英語コミュニケーションIV		講義	×	1			2	専任				
検定英語I		講義	×	1	2			非常勤	20			
検定英語II		講義	×	1		2		非常勤	9			
検定英語III		講義	×	1			2	専任				
検定英語IV		講義	×	1			2	専任				
リーディング・スキルI		講義	×	1		2		専任	4			
リーディング・スキルII		講義	×	1			2	非常勤	1			
韓国語コミュニケーションI		講義	×	2	4			専任	25			
韓国語コミュニケーションII		講義	×	2		4		専任	25			
韓国語コミュニケーションIII		講義	×	1			2	専任				
韓国語コミュニケーションIV		講義	×	1			2	専任				
検定韓国語I		講義	×	1			2	専任				
検定韓国語II		講義	×	1			2	専任				
中国語コミュニケーションI		講義	×	2	4			専任	21			
中国語コミュニケーションII		講義	×	2		4		専任	15			
中国語コミュニケーションIII		講義	×	1			2	専任	1			
中国語コミュニケーションIV		講義	×	1			2	専任				
検定中国語I		講義	×	1			2	専任				
検定中国語II		講義	×	1			2	専任				
ハワイ短期留学		講義	×	2	集			専任	9			
韓国短期留学		講義	×	2	集			専任	21			
中国短期留学	講義	×	2		集		専任	6				

学科専門科目 (2010年度生)

科目の種別	授業科目名	授業形態	必選別	単位数	開講セメスター (開講はセメスター単位。数字は1週あたりの時間数。集中授業の場合は「集」と記載)				教員配置 (兼任非常勤には「※」マーク)	受講者数 (セメスター開講科目については累計。斜線は履修者数未確定)	eラーニング	備考
					1	2	3	4				
国際文化共通	国際文化論	講義	●	2	2				専任	38		選択必修 6単位以上
	異文化交流論	講義	●	2			2		専任	34		
	比較文化論	講義	●	2				2	専任	21	○	
	ヨーロッパ文化圏地域研究	講義	●	2				2	専任	38		
	アメリカ文化圏地域研究	講義	●	2				2	専任	49		
	ハワイ文化圏地域研究	講義	●	2	2				専任	51		
	韓国文化圏地域研究	講義	●	2		2			専任	38		
	中国文化圏地域研究	講義	●	2		2			専任	48		
観光ビジネス	観光学概論I	講義	×	2	2				専任	25		
	観光学概論II	講義	×	2		2			専任	13		
	旅行業法規	講義	×	2	2				専任	39		
	ツーリズム演習	演習	×	2	2				専任	18		
	ホテルビジネス	講義	×	2	2				専任	46		
	ツアーコンダクター	講義	×	2		2			専任	48		
	エアラインビジネス	講義	×	2		2			専任	37		
	国内観光地理	講義	×	2	2				専任	37		
	海外観光地理	講義	×	2			2		専任	31		
	エコツーリズム論	講義	×	2			2		専任	14		
	観光メディア論	講義	×	2				2	専任	41		
	観光マーケティング	講義	×	2		2			専任	39		
	観光英語I	講義	×	1			2		専任	8		
	観光英語II	講義	×	1				2	専任	8		
	観光韓国語I	講義	×	1			2		専任	15		
	観光韓国語II	講義	×	1				2	専任	8		
	観光中国語I	講義	×	1			2		専任	33		
	観光中国語II	講義	×	1				2	専任	16		
英語・韓国語・中国語	英語コミュニケーションI	講義	×	1	2				非常勤	54		
	英語コミュニケーションII	講義	×	1		2			非常勤	27		
	リーディング・スキルI	講義	×	1		2			専任	21		
	リーディング・スキルII	講義	×	1			2		専任	7		
	英検I	講義	×	1	2				専任	38		
	英検II	講義	×	1		2			専任	36		
	英検III	講義	×	1			2		専任	21		
	英検IV	講義	×	1				2	専任	9		
	TOEIC I	講義	×	1	2				非常勤	14		
	TOEIC II	講義	×	1		2			専任	19		
	韓国語コミュニケーションI	講義	×	2	4				専任	23		
	韓国語コミュニケーションII	講義	×	2		4			専任	21		
	韓国語コミュニケーションIII	講義	×	1			2		専任	13		
	韓国語コミュニケーションIV	講義	×	1				2	専任	9		
	中国語コミュニケーションI	講義	×	2	4				専任	24		
	中国語コミュニケーションII	講義	×	2		4			専任	21		
	中国語コミュニケーションIII	講義	×	1			2		専任	21		
	中国語コミュニケーションIV	講義	×	1				2	専任	11		
ハワイ短期留学	講義	×	2	集中				専任	13			
韓国短期留学	講義	×	2	集中				専任	7			
中国短期留学	講義	×	2		集中			専任	15			
スポーツ・地域交流	スポーツ・レジャー論	講義	×	2	2				専任	11		
	スポーツ・レジャーマネジメント	講義	×	2		2			専任	25		
	生涯スポーツ	講義	×	2			2		専任	19		
	野外活動理論及び実習I	実習	×	1			2		専任	11		
	野外活動理論及び実習II	実習	×	1				2	専任	0		
	スポーツ科学論	講義	×	2			集中		専任	4		
	スポーツ・ヘルス	講義	×	2				2	非常勤	8		
	救急処置法	講義	×	2			集中		非常勤※	6		
	地域サービス論	講義	×	2	2				専任	4		
	まちづくりNPO論	講義	×	2		2			専任	9		
	まちづくりNPO演習	演習	×	2			2		専任	0		
	地域福祉	講義	×	2				2	専任	0		
ゼミナール	総合ゼミナールI	演習	○	1	2				専任	66		4単位必修
	総合ゼミナールII	演習	○	1		2			専任	64		
	総合ゼミナールIII	演習	○	1			2		専任	61		
	総合ゼミナールIV	演習	○	1				2	専任	60		
	専門ゼミナールI	演習	●	2	2				専任	73		選択必修 4単位以上
	専門ゼミナールII	演習	●	2		2			専任	66		
	専門ゼミナールIII	演習	●	2			2		専任	36		
	専門ゼミナールIV	演習	●	2				2	専任	33		

b. 履修可能科目および卒業要件について

国際文化学科に所属する学生は、国際文化学科の学科専門科目のほか、項目（1）で挙げた両学科共通科目を履修できる。また、情報処理科の学科専門科目についても、原則として履修でき、最大で20単位まで卒業要件として認められる。しかし、1・2セメスターの学生が、3・4セメスターの科目を受講することは原則として認めない。

卒業要件は、両学科共通科目および学科専門科目に設定された必修科目（必選別に○マークのある科目）に全て合格し、かつ、選択必修科目（必選別に●マークのある科目）の条件を満たした上で、合計で62単位以上の単位を取得することである。

3) 現状評価、問題点・課題と教育課程の見直し・改善

少子化の進行により、大学や短大の入学者の減少が社会問題として注目されており、とりわけ、短期大学では語学系や一般教養系の苦戦が目立っているが、本学国際文化学科も例外ではない。こうした社会環境の変化のなかで、四年制大学においても実務教育の重要性が声高に叫ばれている今日、教育のあり方について、根本的に考え直す時期に来ている。

そこで、本学科は、社会が必要とする実践的な能力の向上という視点で科目編成の見直しを図り、何を学ぶのかを明確にしたうえで、学生一人ひとりにあったカリキュラムを履修できるように工夫すると共に、徹底した個別教育を実践している。

2011年度では、従来、本学が実施してきた多様な履修モデルの設定、それによって学生一人ひとりにより多くの可能性を選択させるという方針による弊害も考慮して、まず二年間で社会人として不可欠な能力を身に付けるために、教養教育と専門教育の位置付けを明確化し、学生がしっかりした基礎の上に土台作りを行うことを支援する教育方針へと転換した。将来、どの様な業務に携わろうとも、基礎となる、語学やICT技術の他に、ヒューマンスキルであるコミュニケーション力等を身に付けておくことが、今日のような流動性の高い社会では必要であるという認識の下、徹底的に人間力を身に付ける教育へと方向転換した。今後、「「生きる」を考え、「働く」を本気で学ぶ」という本学の教育方針のもと、学科内でPDCA（plan-do-check-act）サイクルを活発化させ、学生一人ひとりに最適な教育システムの確立を図るために全力を尽くしたい。

以上のように本学科では学科改革に意欲的に取り組み、社会環境の変化に適切に対応した学科運営に力を入れているが、国際文化学科という学科の性質上、専門分野が広く、社会のニーズに十分に対応するためには、専任教員のみでは対応できず、外部の専門家の協力が必要である。わが国の短期大学の置かれた現状から考えると、今後他の短期大学や高等教育機関との連携をさらに深め、よりいっそう充実した教育システムを構築する必要があると考える。

(4) 学年暦

2011年	4月	3日(日)	入学式(13時)
		4日(月)	
		5日(火)	
		6日(水)	春学期オリエンテーション・ウィーク
		7日(木)	
		8日(金)	
		11日(月)	春学期授業開始
	5月	2日(月)	臨時休校日
	7月	18日(月・祝)	5/2(月)の振替授業日
		23日(土)	
		25日(月)	春学期補講期間
		26日(火)	
		27日(水)	
		28日(木)	春学期定期試験(追試験 8/1(月)、8/2(火))
		29日(金)	
	30日(土)		
	8月	3日(水)	夏期休暇(~9/20(火))、サマーセッション(~8/31(水))
		上旬~中旬	韓国短期留学(予定)
	9月	1日(木)	短期大学(部)スポーツ大会(8/31(水)出発、9/2(金)帰福)
		上旬~中旬	ハワイ短期留学(予定)
		21日(水)	9月学位授与式、秋学期入学式
22日(木)		秋学期ガイダンス	
26日(月)		秋学期授業開始	
11月	1日(火)	建学祭準備(11/1(火))・建学記念式典(11/3(木)) 建学祭(11/2(水)、11/3(木))、建学祭片付け(11/4(金))	
	2日(水)		
	3日(木)		
	4日(金)		
12月	22日(木)	冬期休暇前授業終了	
	23日(金)	冬期休暇(~1/9(月))	
2012年	1月	10日(火)	冬期休暇後授業再開
		24日(火)	金曜授業充当日
		25日(水)	秋学期授業終了
		26日(木)	秋学期補講期間
		27日(金)	
		28日(土)	
		30日(月)	
		31日(火)	秋学期定期試験(追試験 2/3(金)、2/4(土))
	1日(水)		
	2月	2日(木)	
		6日(月)	ウィンターセッション(~3/2(金))
		下旬~3月上旬	中国短期留学(予定)
		3月	8日(木)
	20日(火・祝)		学位授与式・卒業記念パーティー

(5) 時間割

2011年5月1日現在

2011年度授業時間割 情報処理科 (B1生) 第1 Semester

● () 内の、記号は○:必修 ●:選択必修 ×:選択、数字は単位数を表しています。
 ●赤で表示された番号は「履修登録番号」です。

時限	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目
曜日	9:00~10:20	10:30~11:50	12:40~14:00	14:10~15:30	15:40~17:00	17:10~18:30
月	コンピュータシステム (×2) 0811A 宮川 第4実習室	英語I (●1) 9483A 神山 LL 9483B 吉岡 1303 9483C 赤井 1304 9483D 岡崎 1302	経済と国際社会 (●2) 9939A 貝田 2502	2次元CG (×1) 1116A 伊津 第2実習室	スポーツ理論及び実習III (×1) 0604A 西野、貝田 テニスコート 他	
火	情報基礎 (○2) 0603A 矢原 ゼミ室2・3	コンテンツビジネス (×2) 1114A 宮川 2501 ビジネス基礎 (×2) 0022A 佐竹 1305	フレッシュマンセミナーI (○1) 1102A 伊津 1102B 齋藤 1102C 徳永 1102D 宮川 1102E 矢原 1102F 八尋 各研究室	簿記原理I (×2) 9969A 佐竹 第1実習室 スポーツ理論及び実習I (×1) 0410A 北濱、平野 コモンホール 総合グラウンド	簿記演習I (×2) 9965A 佐竹 第1実習室 スポーツ理論及び実習II (×1) 0411A 北濱、平野 コモンホール 総合グラウンド	
水	韓国語I (●1) 0716A 林 1406 デジタルメディアI (×2) 1110A 八尋、矢原 第1実習室	情報総合演習I (×2) 0903A 伊津 第5実習室 0903B 佐竹 共同ゼミ室6 0903C 宮川 第2実習室 0903D 矢原 第1実習室	秘書実務I (×1) 1120A 赤井 1306	医療事務I (×2) 1002A 古賀 1305		
木	インターネット基礎 (×2) 0906A 八尋 第1実習室 青年期の心理 (●2) 944HA 中島 1406 日本語コミュニケーションI (×1) 0122A 古谷 1307	メディアリテラシー (×2) 0029A 伊津 2502 スポーツ理論及び実習IV (×1) 0605A 北濱 コモンホール 総合グラウンド	中国語I (●1) 9953A チョウ 1304	現代文明論I (○2) 941DA 伊津、真下、神山、宮川 2502	進路対策I (×2) 0035A 齋藤、宮内、神山 大方、真下 2502 他	
金	情報リテラシーI (○1) 0219A 矢原、徳永 第1実習室	モバイルコミュニケーション (×2) 1113A 塘 第4実習室	現代社会と思想 (●2) 9940A 真下 1406	フランス語I (●1) 9920A 真下 視聴覚		

集中	海外短期留学 (×4)	東海大学派遣留学制度他
	海外中期留学 (×6)	東海大学派遣留学制度他
	海外長期留学 (×8)	東海大学派遣留学制度他

●履修登録番号および教室のない科目については、後日掲示等で指示します。
 ●実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

2011年度授業時間割 国際文化学科 (B1生) 第1セメスター

● () 内の、記号は○:必修 ●:選択必修 ×:選択、数字は単位数を表しています。

●赤で表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目
月	韓国語コミュニケーション1 (×2) 0831A 林 1306 ※週2コマ【木】開講	英語I (●1) 9483A 神山 LL 9483B 吉岡 1303 9483C 赤井 1304 9483D 岡崎 1302	経済と国際社会 (●2) 9939A 貝田 2502	英語コミュニケーション1 (×2) 0031A 吉岡 1303 0031B 玉置 1302 ※週2コマ【火2】開講	検定英語I (×1) 1135A 赤井 1304 1135B 玉置 1302 スポーツ理論及び実習III (×1) 0604A 西野、貝田 テニスコート 他	
火	ツリーズ演習 (×2) 0819A 宮内、大方 第4実習室	英語コミュニケーション 0031A 吉岡 1303 0031B 玉置 1302 ※週2コマ【月4】開講 ビジネス基礎 (×2) 0022A 佐竹 1305	フレッシュマンゼミナールI (○1) 1102G 赤井 1102H 大方 1102I 神山 1102J 北濱 1102L チョウウ 1102M 林 1102N 真下 1102O 宮内 各研究室	中国語コミュニケーション1 (×2) 9958A チョウ 1304 ※週2コマ【水3】開講 スポーツ理論及び実習I (×1) 0410A 北濱、平野 コモンホール 総合グラウンド	国際文化論 (●2) 942EA 真下 1307 スポーツ理論及び実習II (×1) 0411A 北濱、平野 コモンホール 総合グラウンド	
水	韓国語I (●1) 0716A 林 1406	国内観光地理 (×2) 0216A 大方 1307	中国語コミュニケーション 9958A チョウ 1304 ※週2コマ【火4】開講 スポーツ・レジャー論 (×2) 0309A 北濱、西野 1307	観光学概論I (×2) 1004A 宮内 1303		
木	青年期の心理 (●2) 944HA 中島 1406 韓国語コミュニケーション 0831A 林 1306 ※週2コマ【月1】開講 日本語コミュニケーション1 (×1) 0122A 古谷 1307	ホテルビジネス (×2) 0820A 宮内 1305 スポーツ理論及び実習IV (×1) 0605A 北濱 コモンホール 総合グラウンド	中国語I (●1) 9953A チョウ 1304	現代文明論I (○2) 941DA 伊津、真下、神山、宮川 2502	進路対策I (×2) 0035A 齋藤、宮内、神山 大方、真下 2502 他	
金	旅行業法規 (×2) 0125A 大方 1406	情報リテラシーI (○1) 0219B 矢原、徳永 第1, 2実習室	現代社会と思想 (●2) 9940A 真下 1406	フランス語I (●1) 9920A 真下 視聴覚		

集中	ハワイ短期留学 (×2)	神山
	韓国短期留学 (×2)	林、伊原
	海外短期留学 (×4)	東海大学派遣留学制度他
	海外中期留学 (×6)	東海大学派遣留学制度他
	海外長期留学 (×8)	東海大学派遣留学制度他

●履修登録番号および教室のない科目については、後日掲示等で指示します。

●実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

2011年度授業時間割 情報処理学科 (B1生) 第2 Semester

● () 内の、記号は○:必修 ●:選択必修 ×:選択、数字は単位数を表しています。

●赤で表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目
月	9:00~10:20 コンピュータネットワーク (×2) 0016J 八尋 第4実習室	10:30~11:50 英語II (●1) 9486J 神山 LL 9486K 吉岡 1303 9486L 赤井 1304 9486M 岡崧 1306	12:40~14:00 経済と国際社会 (●2) 9939J 貝田 1406	14:10~15:30 データベース (×2) 9448J 徳永 第2実習室	15:40~17:00 スポーツ理論及び実習III (×1) 0604J 北濱、西野、貝田 テニスコート 他	
火	3次元CG (×2) 1117J 伊津 第2実習室	デジタルメディアII (×2) 1111J 八尋、矢原 第1実習室 秘書実務II (×1) 1121J 赤井 1306	フレッシュマンゼミナールII (○1) 1103A 伊津 1103B 齋藤 1103C 徳永 1103D 宮川 1103E 矢原 1103F 八尋 各研究室	簿記原理II (×2) 0039J 佐竹 第1実習室 スポーツ理論及び実習I (×1) 0410J 北濱、平野 コモンホール 総合グラウンド	簿記演習II (×2) 9966J 佐竹 第1実習室 スポーツ理論及び実習II (×1) 0411J 北濱、平野 コモンホール 総合グラウンド	
水	WebデザインI (×1) 0202J 八尋 第1実習室 韓国語II (●1) 0717J 林 1307	情報総合演習II (×2) 0904J 伊津 研究室 0904K 佐竹 ゼミ室2・3 0904L 宮川 第4実習室 0904M 矢原 第1実習室 0904N 八尋 第2実習室	ビットの時代論 (○2) 1106J 伊津 2502	医療事務II (×4) 1003J 古賀 1305 システムマネジメント (×2) 1115J 宮川 2501		
木	青年期の心理 (●2) 944HJ 中島 1406 アルゴリズム (×2) 9419J 宮川 2501 日本語コミュニケーションII (×2) 0225J 古谷 1307	プログラミング基礎 (×2) 0907J 矢原 第1実習室	中国語II (●1) 9954J チョウ 1304 インターネットコミュニケーション (×2) 1112J 塘 第1実習室	現代文明論II (○2) 942DJ 伊津、真下、神山、宮川 2502	進路対策II (×2) 0318J 齋藤、宮内、神山 大方、真下、宮川 2502 他	
金	情報リテラシーII (×1) 0220J 矢原、徳永 第1実習室	現代社会と思想 (●2) 9940J 真下 1307	フランス語II (●1) 9921J 真下 視聴覚			

集中	企業実習 (×2)	齋藤、宮内
	海外短期留学 (×4)	東海大学派遣留学制度他
	海外中期留学 (×6)	東海大学派遣留学制度他
	海外長期留学 (×8)	東海大学派遣留学制度他
	海外研修(航海) (×4)	

●履修登録番号および教室のない科目については、後日掲示等で指示します。

●実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

2011年度授業時間割 国際文化学科 (B1生) 第2 Semester

● () 内の、記号は○: 必修 ●: 選択必修 ×: 選択、数字は単位数を表しています。

●赤で表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日	1 時限目 9:00~10:20	2 時限目 10:30~11:50	3 時限目 12:40~14:00	4 時限目 14:10~15:30	5 時限目 15:40~17:00	6 時限目 17:10~18:30
月	韓国語コミュニケーションII (×2) 0832J 林 1306 ※週2コマ【木1】開講	英語II (●1) 9486J 神山 LL 9486K 吉岡 1303 9486L 赤井 1304 9486M 岡崎 1306	経済と国際社会 (●2) 9939J 貝田 1406	英語コミュニケーションII (×2) 0032J 吉岡 1303 0032K 玉置 1302 ※週2コマ【火2】開講 スポーツ理論及び実習IV (×1) 0605J 北濱 コモンホール 総合グラウンド	スポーツ理論及び実習III (×1) 0604J 北濱、西野、貝田 テニスコート 他 検定英語II (×1) 1136A 赤井 1304 1136B 玉置 1302	
火	リーディング・スキルI (×1) 0909J 赤井 1306 ツァーマンマネジメント (×2) 1126J 宮内 1303	英語コミュニケーションII (×2) 0032J 吉岡 1303 0032K 玉置 1302 ※週2コマ【月4】開講	フレッシュマンゼミナールII (○1) 1103G 赤井 1103H 大方 1103I 神山 1103J 北濱 1103L チョウ 1103M 林 1103N 真下 1103O 宮内 各研究室	中国語コミュニケーションII (×2) 9959J チョウ 第2実習室 ※週2コマ【金1】開講 スポーツ理論及び実習I (×1) 0410J 北濱、平野 コモンホール 総合グラウンド	スポーツ理論及び実習II (×1) 0411J 北濱、平野 コモンホール 総合グラウンド	
水	エアラインビジネス (×2) 0822J 宮内 1303 韓国語II (●1) 0717J 林 1307	韓国語文化圏地域研究 (●2) 1124J 林 1307	スポーツ・レジャーマネジメント (×2) 1127J 北濱、西野 1406	観光マーケティング (×2) 0315J 大方 1406		
木	青年期の心理 (●2) 944HJ 中島 1406 韓国語コミュニケーションII 0832J 林 1306 ※週2コマ【月1】開講 日本語コミュニケーションII (×2) 0225J 古谷 1307	視光学概論II (×2) 1005J 大方 1406	中国語II (●1) 9954J チョウ 1304	現代文明論II (○2) 942DJ 伊津、真下、神山、宮川 2502	進路対策II (×2) 0318J 齋藤、宮内、神山 大方、真下、宮川 2502 他	
金	中国語コミュニケーションII 9959J チョウ 第2実習室 ※週2コマ【火4】開講	現代社会と思想 (●2) 9940J 真下 1307 情報リテラシーII (×1) 0220K 矢原、徳永 第1, 2実習室	中国語文化圏地域研究 (●2) 1125J チョウ 第4実習室 フランス語II (●1) 9921J 真下 視聴覚			

集中	企業実習 (×2)	齋藤、宮内
	中国短期留学 (×2)	チョウ
	海外短期留学 (×4)	東海大学派遣留学制度他
	海外中期留学 (×6)	東海大学派遣留学制度他
	海外長期留学 (×8)	東海大学派遣留学制度他
	海外研修 (航海) (×4)	

- 履修登録番号および教室のない科目については、後日掲示等で指示します。
- 実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

2011年度授業時間割 情報処理科 (B0生) 第3セメスター

● () 内の、記号は○: 必修 ●: 選択必修 ×: 選択、数字は単位数を表しています。

●赤で表示された番号は「履修登録番号」です。

時限	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目
曜日	9:00~10:20	10:30~11:50	12:40~14:00	14:10~15:30	15:40~17:00	17:10~18:30
月		デジタルデッサン (×2) 0631A 山下 第2実習室、1307	プログラミング1 (×1) 9925A 宮川 第4実習室	データ活用 (×2) 0624A 徳永 第4実習室	専門ゼミナール1II (●2) 0638A 伊津 研究室 0638C 徳永 研究室 0638D 八尋 第1実習室	
火	英語III (●1) 9489A 神山 1406 9489B 吉岡 1303	情報総合演習III (×2) 0905A 徳永 1306 0905B 矢原 第1実習室 0905C 八尋 第2実習室		3次元CG制作II (×2) 0630A 伊津 第2実習室		
水	環境と地球 (●2) 0601A 伊津 2502	CAD (×2) 0001A 徳永 第4実習室	総合ゼミナールIII (○1) 0634A 齋藤 0634B 宮川 0634C 矢原 0634D 八尋 各研究室	インターネット実習II (×1) 0011A 八尋 第4実習室	医事コンピュータ (×2) 1001A 古賀 第2実習室	
木	文学と歴史 (●2) 9963A 神山 2501	ビジネス情報 (●2) 0908A 八尋 2501	進路対策III (×2) 0319A 齋藤 第2実習室 宮内 第1実習室 真下 1307 宮川 1306 2502	スポーツ理論及び実習III (×1) 0604B 北濱 コモンホール 総合グラウンド		
金	オフィス事務 (×2) 0014A 白川 1303	基礎数学 (×2) 946BA 齋藤 ゼミ室2・3	マーケティング (×2) 0720A 佐竹 第1実習室			

集中	海外短期留学 (×4)	東海大学派遣留学制度他
	海外中期留学 (×6)	東海大学派遣留学制度他

●履修登録番号および教室のない科目については、後日掲示等で指示します。

●実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

2011年度授業時間割 国際文化学科 (B0生) 第3セメスター

● () 内の、記号は○: 必修 ●: 選択必修 ×: 選択、数字は単位数を表しています。

●赤で表示された番号は「履修登録番号」です。

時限	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目
曜日	9:00~10:20	10:30~11:50	12:40~14:00	14:10~15:30	15:40~17:00	17:10~18:30
月	野外活動理論及び実習I (×1) 0805A 北濱、前田 1307	観光中国語I (×1) 0707A チョウ 第4実習室	英検III (×1) 0827A 神山 1303	専門ゼミナールIII (●2) 0638F 伊原 1307 0638H 北濱 研究室 0638I チョウ 研究室		
火	英語III (●1) 9489A 神山 1406 9489B 吉岡 1303	異文化交流論 (●2) 9932A 赤井 1406	韓国語コミュニケーションIII (×1) 0911A 伊原 1307	専門ゼミナールIII (●2) 0638G 大方 研究室		
水	環境と地球 (●2) 0601A 伊津 2502	観光韓国語I (×1) 0709A 林 1406 生涯スポーツ (×2) 0804A 北濱 1305	総合ゼミナールIII (○1) 0634E 大方 0634F 神山 0634G 林 0634H 真下 0634I 宮内 各研究室	海外観光地理 (×2) 0314A 大方 1406		
木	文学と歴史 (●2) 9963A 神山 2501	中国語コミュニケーションIII (×1) 9960A チョウ 1304	進路対策III (×2) 0319A 齋藤 第2実習室 宮内 第1実習室 真下 1307 宮川 1306 2502	スポーツ理論及び実習III (×1) 0604B 北濱 コモンホール 総合グラウンド		
金	リーディング・スキルII (×1) 0910A 赤井 1304	エコツアーリズム論 (×2) 0306A 大方 1406	観光英語I (×1) 0213A 赤井 1307			

集中	スポーツ科学論 (×2)	0607A	西野、田中、植村
	救急処置法 (×2)	0609A	宮崎
	海外短期留学 (×4)		東海大学派遣留学制度他
	海外中期留学 (×6)		東海大学派遣留学制度他

●履修登録番号および教室のない科目については、後日掲示等で指示します。

●実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

2011年度授業時間割 情報処理科 (B0生) 第4セメスター

● () 内の、記号は○:必修 ●:選択必修 ×:選択、数字は単位数を表しています。

●赤で表示された番号は「履修登録番号」です。

時限	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目
曜日	9:00~10:20	10:30~11:50	12:40~14:00	14:10~15:30	15:40~17:00	17:10~18:30
月		専門ゼミナールIV (●2) 0639A 伊津 0639B 齋藤 0639C 徳永 0639D 八尋 各研究室	文学と歴史 (●2) 9963J 神山 1305			
火		編集基礎 (×2) 0623J 齋藤 第2実習室	経営基礎論 (×2) 0810J 佐竹 第1実習室	IT教育法 (×2) 0625J 八尋 第4実習室		
水	環境と地球 (●2) 0601J 伊津 2502	英語IV (●1) 9492J 神山 1406 9492K 赤井 1304	総合ゼミナールIV (○1) 0635A 齋藤 0635B 宮川 0635C 矢原 0635D 八尋 各研究室	コンピュータ応用リテラシー (×2) 0407J 八尋 第2実習室		
木		ゲームデザイン (×2) 0307J 伊津 第2実習室	プログラミングII (×1) 9926J 宮川 第2実習室			
金			CAD実習 (×1) 9401J 徳永 第2実習室	スポーツ理論及び実習IV (×1) 0605K 北濱 コモンホール 総合グラウンド		

集中
海外短期留学 (×4) 東海大学派遣留学制度他
海外中期留学 (×6) 東海大学派遣留学制度他
海外研修(航海) (×4)

●履修登録番号および教室のない科目については、後日掲示等で指示します。

●実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

2011年度授業時間割 国際文化学科 (B0生) 第4セメスター

● () 内の、記号は○:必修 ●:選択必修 ×:選択、数字は単位数を表しています。

●赤で表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日	1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目
月	9:00~10:20	10:30~11:50 専門ゼミナールIV (●2) 0639H 北濱 研究室	12:40~14:00 文学と歴史 (●2) 9963J 神山 1305	14:10~15:30 観光韓国語II (×1) 0710J 林 1307	15:40~17:00 英検IV (×1) 0828J 神山 1305	
火		観光中国語II (×1) 0708J チョウ 第4実習室		専門ゼミナールIV (●2) 0639E 赤井 研究室 0639F 伊原 1307 0639G 大方 研究室	比較文化論 (●2) 943JJ 神山 1406	
水	環境と地球 (●2) 0601J 伊津 2502	英語IV (●1) 9492J 神山 1406 9492K 赤井 1304	総合ゼミナールIV (○1) 0635E 大方 0635F 神山 0635G 林 0635H 真下 0635I 宮内 各研究室	韓国語コミュニケーションIV (×1) 0912J 伊原 1307		
木	中国語コミュニケーションIV (×1) 9957J チョウ 第4実習室	ヨーロッパ文化圏地域研究 (●2) 0030J 真下 1306	観光メディア論 (×2) 0422J 宮内 1406	アメリカ文化圏地域研究 (●2) 0006J 吉岡 1406	専門ゼミナールIV (●2) 0639I チョウ 研究室	
金	スポーツ・ヘルス (×2) 0608J 片平 1307	観光英語II (×1) 0214J 赤井 1306	野外活動理論及び実習II (×1) 0806J 北濱 1307	スポーツ理論及び実習IV (×1) 0605K 北濱 コモンホール 総合グラウンド		

集中
海外短期留学 (×4) 東海大学派遣留学制度他
海外中期留学 (×6) 東海大学派遣留学制度他
海外研修 (航海) (×4)

- 履修登録番号および教室のない科目については、後日掲示等で指示します。
- 実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

(6) 教科書

< 1 年春学期 >

科目名	担当教員	書名	出版社	売価
英語 I	神山	English Primer	南雲堂	1,900
	吉岡	People, Places, and Things 3	オックスフォード	2,020
	赤井・岡崙	People, Places, and Things 2	オックスフォード	2,020
フランス語 I	真下	Salut!	駿河台出版社	2,500
中国語 I	チョウ	らくだ最新中国語	とうか書房	1,800
進路対策 I	齋藤・宮内・神山・大方・真下	2012年度版 一問一答一般常識頻出1500問	高橋書店	1,100
スポーツ理論及び実習 IV	北濱	インディアカ	日本レクリエーション協会	1,500
情報総合演習 I	佐竹	日商簿記3級合格テキスト	TAC出版	2,000
		最新段階式 日商簿記検定問題集 3級	実教出版	860
	宮川	2011春 ITパスポート予想問題集	iTEC	2,000
コンテンツビジネス	宮川	平成23年度ITパスポート合格教本	技術評論社	1,580
コンピュータシステム	宮川	平成23年度 栢木先生の基本情報技術者教室	技術評論社	1,780
簿記原理 I	佐竹	日商簿記3級合格テキスト	TAC出版	2,000
		最新段階式 日商簿記検定問題集 3級	実教出版	860
簿記演習 I	佐竹	日商簿記3級合格テキスト	TAC出版	2,000
		最新段階式 日商簿記検定問題集 3級	実教出版	860
秘書実務 I	赤井	秘書検定3級実問題集 2011年度版	早稲田教育出版	1,100
医療事務 I	古賀	日本医療事務協会オリジナルテキスト (※)		13,500
旅行業法規	大方	2011 旅行業務取扱管理者試験「国内短期完成」	エフィカス	2,100
国内観光地理	大方	2011 旅行業務取扱管理者試験「国内短期完成」	エフィカス	2,100
英語コミュニケーション I	玉置	Talk a lot Book 2	EFL Press	2,400
検定英語 I	赤井	英検準2級 DAILY 20日間集中ゼミ CD付 (改訂新版)	旺文社	1,300
		英検Pass単熟語準2級	旺文社	1,100
	玉置	新・英検2級 サクセスコース	金星堂	2,000
中国語コミュニケーション I	チョウ	らくだ最新中国語	とうか書房	1,800

< 2 年春学期 >

科目名	担当教員	書名	出版社	売価
英語 III	神山	Reading Pass 1	南雲堂	2,200
	吉岡	Reading Pass 1	南雲堂	2,200
情報総合演習 III	徳永	平成23年度CAD利用技術者試験 2級・基礎公式ガイドブック	日経BP	3,340
CAD	徳永	平成23年度CAD利用技術者試験 2級・基礎公式ガイドブック	日経BP	3,340
オフィス実務	白川	ビジネスパーソンのためのビジネス実務の基礎	学文社	2,000
医事コンピュータ	古賀	日本医療事務協会オリジナルテキスト (※)		13,500
海外観光地理	大方	すぐに役立つ海外地理ベーシック400	JTB能力開発	2,000
観光英語 I	赤井	On the Go	ロングマン	2,310
観光中国語 I	チョウ	らくだ最新中国語	とうか書房	1,800
英検 III	神山	7日間完成 英検2級予想問題ドリル 改訂新版	旺文社	1,200
リーディング・スキル II	赤井	5週間入試突破問題集基本英文法	開拓社	550
韓国語コミュニケーション III	伊原	よくわかる 韓国語 step 2	白帝社	2,800
中国語コミュニケーション III	チョウ	中国成語故事	天津社会科学出版社	1,410
専門ゼミナール III	伊原	「冬のソナタ」で始める韓国語 シナリオ対訳集	キネマ旬報社	1,900
	チョウ	中国成語故事	天津社会科学出版社	1,410
	赤井	秘書検定2級実問題集 2011年度版	早稲田教育出版	1,200

< 1 年秋学期 >

科目名	担当教員	書名	出版社	売価
英語II	神山	English Primer	南雲堂	1,900
	吉岡	People, Places, and Things 3	オックスフォード	2,020
	赤井・岡崙	People, Places, and Things 2	オックスフォード	2,020
フランス語II	真下	Salut!	駿河台出版社	2,500
韓国語II	林	完全マスター ハングル文法	DHC	2,000
中国語II	チョウ	らくだ最新中国語	とうか書房	1,500
進路対策II	齋藤・宮内・神山・大方・真下・宮川	短大生の就活編 (※)	(株) ディスコ	840
情報総合演習II	佐竹	日商簿記3級合格テキスト	TAC出版	2,000
		最新段階式 日商簿記検定問題集 3級	実教出版	860
		日商簿記検定模擬試験問題集 3級	実教出版	740
	宮川	2011春 ITパスポート予想問題集	iTEC	2,000
システムマネジメント	宮川	平成23年度栢木先生の基本情報技術者教室	技術評論社	1,780
アルゴリズム	宮川	明解C言語によるアルゴリズムとデータ構造	ソフトバンク・クリエイティブ	2,400
簿記原理II	佐竹	日商簿記3級合格テキスト	TAC出版	2,000
		最新段階式 日商簿記検定問題集 3級	実教出版	860
簿記演習II	佐竹	日商簿記3級合格テキスト	TAC出版	2,000
		最新段階式 日商簿記検定問題集 3級	実教出版	860
秘書実務II	赤井	秘書検定3級実問題集 2011年度版	早稲田教育出版	1,100
医療事務II	古賀	日本医療事務協会オリジナルテキスト (※※)		13,500
英語コミュニケーションII	玉置	Talk a lot Book 2	EFL Press	2,400
検定英語II	赤井	英検準2級 DAILY 20日間集中ゼミ CD付 (改訂新版)	旺文社	1,300
	玉置	新・英検2級 サクセスコース	金星堂	2,000
リーディング・スキルI	赤井	5週間入試突破問題集 基本英文法	開拓社	550
中国語コミュニケーションII	チョウ	らくだ最新中国語	とうか書房	1,500

< 2 年秋学期 >

科目名	担当教員	書名	出版社	売価
英語IV	神山	Reading Pass 1	南雲堂	2,200
	赤井	Reading Pass 1	南雲堂	2,200
観光英語II	赤井	On the Go	ロングマン	2,360
観光中国語II	チョウ	らくだ最新中国語	とうか書房	1,500
英検IV	神山	英検2級予想問題集 改訂版	旺文社	900
韓国語コミュニケーションIV	伊原	よくわかる 韓国語 Step 2	白帝社	2,800
中国語コミュニケーションIV	チョウ	中国成語故事	天津社会科学出版社	1,410
専門ゼミナールIV	伊原	「冬のソナタ」で始める韓国語	キネマ旬報社	1,900
	チョウ	中国成語故事	天津社会科学出版社	1,410

2. 教育の質の保証と改善に向けて

(1) ゼミナールと個別指導

「今年度より、新入生が短期大学での学習に迅速に対応し、二年間という短い期間をより効果的に活用できるように「フレッシュマンゼミナールI、II」を開講した。「フレッシュマンゼミナールI」は二部に分けられ、一部は「学ぶことの楽しさ・スキルを学ぶ」というテーマのもと、本学施設（図書館、PC実習等）をどの様に学修に生かすのかをツアー形式で行い、続いて授業ノートの取り方、レポートの書き方を指導した。また、それまでの集大成として『異文化講話』を実施し、それに関するレポートを

提出させ、各指導教員が添削し、個別にレポート指導を行った。第二部は、「チームで協力して活動する」というテーマのもと、「福短を知り、仲間を知り、自分を知る！」と銘打ったプレゼンテーション企画をゼミ単位で準備し、最後に全体で発表会を開催し、優れたゼミを投票によって選抜した。これらの活動を通して、初年次教育の目的の多くを達せられたと思っている。反省点としては、余りに多くの内容を「フレッシュマンゼミナール I」に盛り込んだことで、教えた内容の消化不良が起きたのではという点である。

後期の「フレッシュマンゼミナール II」では、ゼミナール担当の各教員がそれぞれの研究テーマを発表し、学生自身が関心のあるゼミナールを選択するという従来の総合ゼミ形式の下、各ゼミナール固有の研究と同時に、学習指導や進路指導等を行った。この様に、「フレッシュマンゼミナール」は本学が重視する個別教育の中心として大きな成果をあげていると考える。

また、本学では、学生一人ひとりの様々な情報を集約し、全ての教職員が共有するための Web システム「学生カルテ (Student Relationship Management System/SRMS)」を運用している。平成 11 年度から運用されている本システムは、本学専任教員によって開発され、以降、継続的な改善・改良が施され今日に至っている。この学生カルテによって、学生の個別情報の迅速かつ的確な把握と、教職員同士の情報の共有化が可能になったことで、総合ゼミナールでの個別指導の現場に、書き込まれた様々な情報が直接反映され、「学生一人ひとりに一対一で向き合う」ことを目指す、本学のきめ細かい個別指導の基盤を構成している。

(2) FD 活動

1) 目的

本学は「学びの自由化と個別教育」を基本方針に据え、多様性を増す学生一人ひとりに対応できる教育の実現による、初期高等教育そのものの質的変革を目指している。また、高等教育機関としての短期大学の存在意義が厳しく問われている現状において、本学が今後も生き残っていくためには、教育機関としての原点である教育能力の向上を第一に考えねばならない。これらの目標を実現するために、以下の 3 点を中心に研究活動を進める：

- リアルタイム授業評価の実施推進
- 相互授業参観の実施
- FD 研究会

2) リアルタイム授業評価の座学授業での実施率向上

本学教員により開発されたリアルタイム授業評価システムは一部の若手教員でのみ実施されていた。本システムの有効性は関連学会でも認められており、私立情報教育協会からの講演依頼や、科研費採択の実績もある。しかしながら肝心の本学での実施率が非常に低い状況にあった。この理由として、本システムが World Wide Web を用いるため、授業評価を実施するにあたり、PC 環境を必要とすることがあった。そこでシステムを改良し、学生への普及率がほぼ 100%であるケータイ (Web ブラウジング機能を持つ携帯電話やスマートフォン) を用いて授業評価が実施できるようにしている。これにより PC を利用しない授業、とりわけ座学授業でも本システムが利用できるようになった。しかしながら、学生が個人的に所有するケータイを利用することは、本システム利用の際に発生するケータイのポケット通信代負担の問題があり、教員・学生ともにその実施に躊躇する傾向が見られた。

そこで、授業評価の実施に要するポケット通信代相当を学生に支給することにより、授業評価実施の金銭的問題を解決し、授業評価の実施率アップを試みた。

2011 年度は延 45 科目でリアルタイム授業評価が実施され、総計 10,900 件の授業評価を得た。また本学教員の非常勤勤務先での授業 (福岡教育大学、西南学院大学) や、本学での非常勤講師による授業でも実施されている。

※実際の授業評価結果は下記 URL で公開している。

<http://mp.ftokai-u.ac.jp/mp/?cmd=p>

(3) eラーニング

近年の少子化や短期大学をめぐる社会的要請の変化などにより、入学する学生の特徴は、年齢・国籍・

学習経歴・基礎学力から、入学目的・希望進路に至るまで、多様化の一途を辿っている。このような状況において、教育の質と学生の満足度を高めるためには、個々の状況を的確に把握し、かつ、その状況に見合った対応を行う「個別教育」の実現が必要である。

本学では、個別教育の実現に向けて、下記に述べるようなeラーニングによる授業形態を導入し、{いつでも} {どこでも} {誰でも} 学ぶことのできる体制づくりを推進している。

1) 取組み概要

本学では、(1)本学教員による独自のウェブ教材、(2)学生カルテ、(3)メンタリング、の3つをeラーニング実現の中核要素とし、これらの有機的な結合によって、多様な個々の学生に対する教育効果の増進を図っている。具体的には、授業担当教員とのメンタリングによって得られた、学生の学習状況・希望進路・生活状況などの情報を学生カルテに蓄積し、教員間で共有する。この情報をもとに、教員は個々の学生の将来目標や能力に適する教材を開発・提示することや、その時点での学生の状況に応じたより適切なメンタリングを推進できる。

2) eラーニング科目と単位認定

本年度(2011年度)は、正規科目のうち11科目(計18単位)を「eラーニング履修可能科目」として開講した^(*)。これらの科目については、eラーニングのみで単位取得が可能であるだけでなく、通常の対面授業も実施しており、学生は科目担当教員と相談の上、受講の形態を選択することができる。分野別科目数一覧を以下に示す。なお、具体的なeラーニング科目については、先に示したカリキュラム表のとおりである。

科目区分別 eラーニング履修可能科目数一覧 (2011年度開講)

科目区分	1年生	2年生
両学科共通	2	1
情報処理学科専門	5	2
国際文化学科専門	0	1

^(*)2011年度カリキュラム(2011-2012)では、9科目14単位がeラーニング履修可能科目として設定されている。これは2010年度カリキュラム(2010-2011)との比較において5科目の減少である。

3) 支援体制

本学におけるeラーニングの取り組み全体は、メディア情報センターが統括している。また、eラーニング教材の開発支援と運用に関しては、メディア情報センターの下部組織であるラーニングリソースラボが、その中心的役割を担っている。

具体的に、eラーニング教材の開発を行う場合は、科目担当教員からの要請に基づき、ラーニングリソースラボスタッフが教材開発の技術指導のほか、ビデオ撮影、編集作業などを支援している。

4) 現状の問題点と改善に向けての取組み

本学のeラーニングに対する取組みは、2005年度に本格稼働の後、本学の教育の特長の一つでもある個別教育の具現化、及び、多様化した学生に対する教育の質向上に一定の成果をあげてきた。しかし、極めて早い社会の動きの中において、科目内容の見直しスピードに教材開発が追い付かず、eラーニング履修可能科目は減少傾向にある。また、これまで本学において開発・運用してきた教材のうち多くを占めている「長時間の授業ビデオと演習問題」というスタイルは、開発効率こそ良好なもの、近年の学生の学習スタイルと合致せず、その利用率は低調である。その代りに台頭してきている潮流として、対面授業とeラーニング教材を組み合わせたブレンDED授業がある。これらの授業においては、eラーニング教材を素材に、授業内外での積極的な学習行動を促すよう科目担当教員の工夫がなされている。ただ、これらの授業の中において、どの程度eラーニングを活用するかどうかは各科目担当教員に任されており、その全体把握は現在のところ不十分であるほか、教員間で運用ノウハウが共有されているとは言い難い。

これらを踏まえ、自学自習、対面授業の質向上、授業アーカイブなど、求められるそれぞれのシーン

に基づいた質の高い教材の設計・開発を推進するべく、FD活動と連携し、活動全体を見直すことが必要と考えている。その他、技術的には昨今急速に普及が進むスマートフォン等のスマートデバイス活用も早急に検討するべきと考える。

(4) 実践教育

1) 取組み背景と目的

本学では学内における座学・演習・実習だけでなく、本学敷地以外をキャンパスとした教育活動を行っている。これは現場における実学を中心とした実践教育を行い、様々な場面での社会人としての礎を養うことを目的としている。また短期大学は就学年数が2年と短いことに加え、昨今の就職活動の早まりから、将来の進路選択に十分な知識がないままその時期を迎えてしまう問題もあった。これらの判断材料となる知識を得るためにも実践教育が必要と考えている。

2) 主な活動

主に次の科目において実践教育を中心とした授業展開を行った。

専門ゼミナール I, II, III, IV

専門ゼミナールは、学科専門科目として開講されている科目に対して、その内容を横断的に取扱い、さらに専門科目群の実践の場として実施している科目である。この科目は各教員がテーマを設定し、それに対して希望する学生が主体的に参加する形態をとっており、原則2セメスターから4セメスターまでを同じテーマで取り組む。

ある専門ゼミナールでは、東海大学付属自由ヶ丘幼稚園の保護者向けの Web コンテンツ作成に取り組んだ。学生はデジタルカメラやビデオを用いて園児たちの日常・行事などを撮影し、作品を作成する。その作品を Web ページ上で保護者向けに公開する。また、幼稚園の夏祭りや本学建学祭などのイベント時に作品の公開上映などを行う。具体的には、撮影に関しては、取材スケジュールの調整、スタッフ調整、企画などの事前作業（プリプロダクション）、そして実際の撮影（プロダクション）さらに写真や動画の編集、公開（ポストプロダクション）などを行う。この過程の中で、専門科目として開講されている授業だけでは知識や技能を学ぶことにできない範囲を、実践として取り扱う。

野外活動理論及び実習 I

野外活動理論及び実習 I は、理論としての座学と学内外での実習を融合させて、個人のライフスタイルを考え、「気づき」から「責任ある行動」への繋がりを到達目標とした科目である。また、本実習ではプロジェクト・ワイルドの資格取得を推奨し、授業内でもプロジェクト・ワイルドに取り組む。プロジェクト・ワイルドは、「自然を大切に」と理解するだけでなく、「自然や環境のために行動できる人」を育成することに取り組み、生き物を題材とした環境教育プログラムである。

実習はセメスターを通して3回実施し、内容に関しては次である。1) 地域探索実習として本学周辺の寺社・名所を徒歩で巡り、最終目的地とした八所宮で飯盒炊爨を含む野外調理を行う。2) 1泊2日のキャンプ実習を福岡県内のキャンプ施設で行う。実習内容は大きく区分けして以下の3項目である。グループプレゼンテーション（地図とカメラを持参してハイキングコースを巡り、自分たちの経路・途中で食した弁当紹介など）、プロジェクト・ワイルドの講義・実習、野外調理の3つである。3) 水辺活動の実習として、遠賀川水域でのカヌー実習及び水辺生物の調査を行う。

マーケティング

マーケティングでは、「顧客が満足する商品やサービス」を提供するための企業活動について学ぶ。最初の授業オリエンテーションで、学習の一環として、本学近くの大型スーパーにおいて来店者を対象に調査活動を行う旨話す。この調査は、市内に在住する人の買物動向を明らかにすることが主たる目的であるが、活動を通して「社会人基礎力」を身につけることと地域の人々に本学及び学生の活動を広報することも目的の一つである。調査に際して事前に店舗に出向き店長からマーケティング戦略について説明を受け、その後、店内の状況や来店者の買い物風景を観察した。顧客の買い物動向について仮説を立て調査内容を検討・準備をして、6月下旬の土曜日の午後に調査活動を行った。調査当日は、班ごと

に店内への入り口5カ所に分かれ、来店するお客にアンケート調査への協力をお願いをした。調査に快く応じる来店者もいれば、そっけなく断る人もいて、はじめは戸惑う学生もいたが、時間と共に積極的に活動するようになり、約3時間の間に予想以上の回答を得ることができた。学生は、活動をとおして礼儀や挨拶、コミュニケーションの重要性をあらためて実感することができた。事実、ほぼ全員が、有意義な体験ができた旨調査後の感想に書いている。終了後、アンケートデータはMS-Excelで集計・グラフ化した後、内容を分析し冊子にまとめた。

3) 今後に向けて

次年度(2012年度)よりプロジェクト実践を1つの基軸としたカリキュラムの抜本的な改定を行い、各専門科目が完全にプロジェクトと連携した教育体系を目指す予定である。また、学科の専門性に応じたプロジェクトテーマをいくつか設定し、これらを必修科目の設定として全学生を対象とした体制を計画している。

(5) 一貫教育

2011年度より、付属第五高校を対象に高大連携授業を開始した。また、付属推薦入試入学予定者のうち成績上位者を対象にした体験留学制度を入学前教育として実施している。東海大学付属第五高校の「現代文明論」科目への講師派遣も行っている。さらに、折尾高校、筑豊高校、小倉商業高校、宇美商業高校(以上4校とも福岡県立)と高大連携授業の提携を行い、資格取得を中心として講師を派遣している。

1) 東海大学付属第五高校との高大連携授業

東海大学付属第五高校の生徒に対して、高等教育機関で学ぶ内容を早期に体験させ、その基礎知識やスキルの修得、あるいは資格取得を目指していく中で、卒業後の進路選択に向けた付加価値の創出を目的として実施した。4月から翌年1月までの間で全17回授業を行った。2011年度は、韓国語、中国語、情報、ITパスポート試験、日商PC検定(文書作成)の5コースを設定し、全3年生(理数科を除く)を対象に行った。中国語と日商PC検定(文書作成)のコースでは、検定に挑戦し合格した生徒も出るなど、一定の成果を得ることができたと言える。しかし、授業日程の調整や全員対象としたことによる受講モチベーション維持など、いくつかの問題点もある。これらの改善を図りながら、次年度の実施体制を検討する必要がある。

2) 体験留学

今年度は該当者がいなかった。この体験留学制度は毎年実施しており、「東海大学付属高等学校特別奨励入学制度」に該当する成績優秀な生徒を対象に、早い段階で大学の専門教育を受講させ、大学・高校への接続をスムーズにし、大学への入学前の準備を充実させることを目的にしている。本学園の特色の一つである一貫教育の推進を図る重要な制度であり、今後も内容の充実と一貫教育の連携に努めていきたい。

3) 東海大学付属第五高校 現代文明論

東海大学付属第五高校の1年生に対して、より専門性の高い講義を行うことでその後の勉学意欲向上と早期に高等教育機関への関心を高めることを目的として実施している。

今年度は4名の講師を派遣し、「大学的視点からの現代文明論」、「知的財産教育としての実践教育」、「語学」「国際文化」「ICT」の内容で講義を行った。付属生に高等教育機関への関心と意識を持たせる上で重要な役割を担っており、今後も継続実行していく必要がある。

4) 福岡県立4高校との高大連携事業

連携校である折尾高校、筑豊高校、小倉商業高校、宇美商業高校に対して、情報系国家資格の取得支援(担当:宮川講師)を実施している。対応する試験は「基本情報技術者試験」と「ITパスポート試験」である。授業運用体制としては、本学内で運用しているコンテンツマネジメントシステム(Moodle)を活用することによる、完全eラーニング体制のもと実施した。高校側での情報系国家資格の希望者が減少傾向にあり、高校での指導体制も変化している。これに伴い、本学からのコンテンツ提供状況も授業

の主教材として活用し、主たる支援を希望する高校と、補助教材としての活用に留める高校も出てきている。

本学の教育の特徴を近隣の高校に提供することは、双方にとって意義のある取り組みであるので、支援体制の新たな構築を行うと共に、連携の幅を広げていきたい。